## 2023 年度 緑の国際ボランティア研修(カンボジア)

カンボジア国では、2006年時点で国土の60%を覆っていた森 林面積が、開発行為等によって 2016 年には 45%に減少し、自 然資源の枯渇や気候変動によって高まる自然災害のリスクに、 人々の生活が脅かされています。国際緑化活動の重要性や「緑 の募金」が果たす役割について研修員の理解を深めることを目 指し、カンボジア国において 2024 年 3 月 7 日(現地着)から 3 月 14日(現地発)に至8日間、「緑の国際ボランティア研修」を実施 しました。本研修では、NGO が取り組む植林活動地の視察、植 林地管理活動の体験、森林の炭素貯留量を推定する森林資源 調査等に取り組みました。具体的には 10 人の研修員が研修中 に取り組むテーマとそのテーマに基づいて3グループに分かれ、 それぞれのグループにおいて仮説を設定しました。各グループ は地域住民への聞き取り調査や現地大学生との意見交換を通し て仮説の検証を進めました。その過程で研修員はカンボジア国 における森林管理の現状やその背景を学び、人と自然との共生 の在り方や持続可能な開発についての考察を深めました。最終 日には研修成果発表会が開催され、研修の総括と仮説の検証 結果とともに、持続可能な森林管理に向けた具体的なアクション プラン等を発表しました。

ノブン等を発表しました。			
	日時	主な活動	宿泊地
1	3/7	・羽田空港より出発(15:20)	マニラ
	(木)	・マニラ着(19:40)	
2	3/8	・グループディスカッション	プノンペ
	(金)	・マニラ発(15:20 発)	ン
		·プノンペン着(23:55)	
3	3/9	<ul><li>・コンポンチャムへ移動</li></ul>	コンポン
	(土)	・「緑の募金」植林活動地視察、地	チャム
		域住民との意見交換、地域住民と	
		協働での植林地管理活動(苗木の	
		生育状況調査等)	
		・苗床(苗木の保育圃場)	
		・バンブーブリッジの見学	
4	3/10	・クラチェ州に移動	クラチェ
	(日)	・「緑の募金」植林活動地(小学校)	
		視察、小学生・地域住民との意見	
		交換、小学生・地域住民と協働で	
		の植林地管理活動(補植等)	
5	3/11	・コミュニティフォレスト訪問、森林資	クラチェ
	(月)	源調査(樹木における炭素貯留量	
		の推定)	
		・ゴム農園(プランテーション)訪問、	
		森林資源調査(樹木における炭素	
	0./10	貯留量の推定)	1.185
6	3/12 (火)	・トボンクムン州に移動	トボンク
	(X)	・トボンクムン大学にて現地大学生と	ムン
		グループディスカッション、キャンパ	
	3/13	・プノンペンに移動	プノンペ
7	3/13 (水)		ン
	(>10)	・グループディスカッション、研修成 果発表会準備	
8	3/14	·研修成果発表会、修了式	機内泊
0	(木)	・クメールグリーンチャコール視察	7成11/日
	(-1-7	- ・プノンペン発(24:45)	
9	3/15	・成田空港着(12:40)	
Э	(金)	7以四三伦有(14.40)	
レ 技行業汁に上N租地住人、租地쮠サでナが「特行フカッフが			

<sup>\*</sup> 旅行業法により現地集合・現地解散ですが、随行スタッフが 研修参加者の渡航便に同行しました。



経由地マニラにて(3月8日)



プノンペン国際空港に到着(3月8日)



出発前の集合写真(プノンペン)(3月9日)



地域住民との意見交換(コンポンチャム州)(3月9日)



植林苗木の生育状況調査(コンポンチャム州)(3 月 9 日)





バンブーブリッジ訪問(コンポンチャム州)(3月9日)



コミュニティフォレスト訪問(クラチェ州)(3 月 11 日)



小学校における聞き取り・意見交換(クラチェ州)(3 月 10 日)



森林資源調査(クラチェ州)(3月11日)



補植活動(クラチェ州)(3 月 10 日)



森林資源調査(クラチェ州)(3月11日)



トボンクムン大学訪問(トボンクムン州)(3月12日)



昼食時のミーティング(プノンペン)(3月13日)



現地大学生と意見交換(トボンクムン州)(3 月 12 日)



クメールグリーンチャコール訪問(プノンペン)(3月13日)



トボンクムン大学施設見学(トボンクムン州)(3月12日)



研修成果発表会(プノンペン)(2024年3月14日)



トボンクムン大学長と記念撮影(トボンクムン州)(3月12日)



修了式(プノンペン)(2024年3月14日)